

江戸の版元・蔦重とその時代

令和七年大河ドラマ『べらぼう』の世界

第1回 蔦屋重三郎とは何者ぞ

日時：2024年12月5日（木）17：00～18：10

講師：鈴木俊幸氏（近世文芸・書籍文化史）

◇講師プロフィール◇

1956年札幌市生まれ。中央大学に学び、現在中央大学文学部教授（定年まであと数年）。近世後期の狂歌や戯作を研究していく中、それらの版元として活躍した蔦屋重三郎について調べ始める。現在では、江戸時代から明治前半期までの書籍文化の歴史全般を広く扱って研究している。とくに、書籍流通の実態に迫るべく、明治前半期までの日本全国の書店の史料を網羅的に収集しているところである。

第2回 江戸人と読書

日時：2025年1月9日（木）17：00～18：10

講師：廣瀬千紗子氏（江戸時代の演劇書出版）

◇講師プロフィール◇

1949年京都市生まれ。立命館大学に学び、同志社女子大学に奉職。現在本学名誉教授。2019年、定年退職するも大して暇にはならず、大量に積み残した宿題を片付けている。卒業論文は世阿弥の能楽論だったが、美術工芸品のような江戸の版本が面白くて近世に転向。京都の版元、八文字屋八左衛門が出版した〈役者評判記〉や〈絵入り狂言本〉を通じて、歌舞伎役者・観客・読者の諸相を掘り起こしている。

会場 同志社女子大学 今出川キャンパス 楽真館R401

対象 在学生・教職員・卒業生・一般

（申込は不要です。当日は直接会場へお越しください。）

お問合せ

同志社女子大学 表象文化学部事務室

☎075-251-4106

✉nichi-i@dwc.doshisha.ac.jp

入場の際して、特別な配慮をご希望の方は事前にお問い合わせください。
できる限りの対応を取らせていただきます。



アクセス



京都市上京区今出川通寺町西入

・京阪本線 出町柳駅 3番出口より西へ徒歩約10分

・地下鉄 烏丸線 今出川駅 3番出口より東へ徒歩約5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。